

容器包装の 3 R についての最近の取組状況について

平成 2 2 年 3 月

環境省 リサイクル推進室

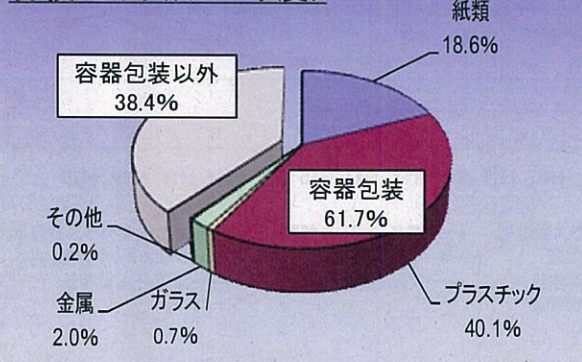
容器包装リサイクル法の制定とその背景

○廃棄物処理法に基づき、一般廃棄物の処理について、市町村が統括的な責任を有している（同法第6条の2）。

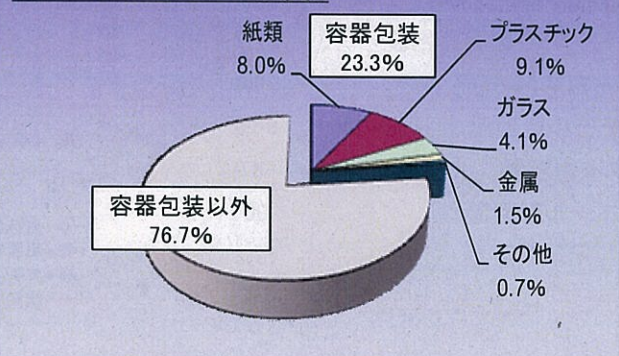
○一般廃棄物の排出量の増大に伴い、その太宗を容器包装が占める一方、周辺住民の反対により最終処分場や焼却処理施設の立地が困難な状況であった。このため、平成7年に容器包装リサイクル法を制定。市町村が全面的に責任を負う従来の制度を改め、メーカー等にも一定の責任を負わせることとした。

容器包装廃棄物は家庭ごみの約6割を占める（容積比）

容積比（平成20年度）

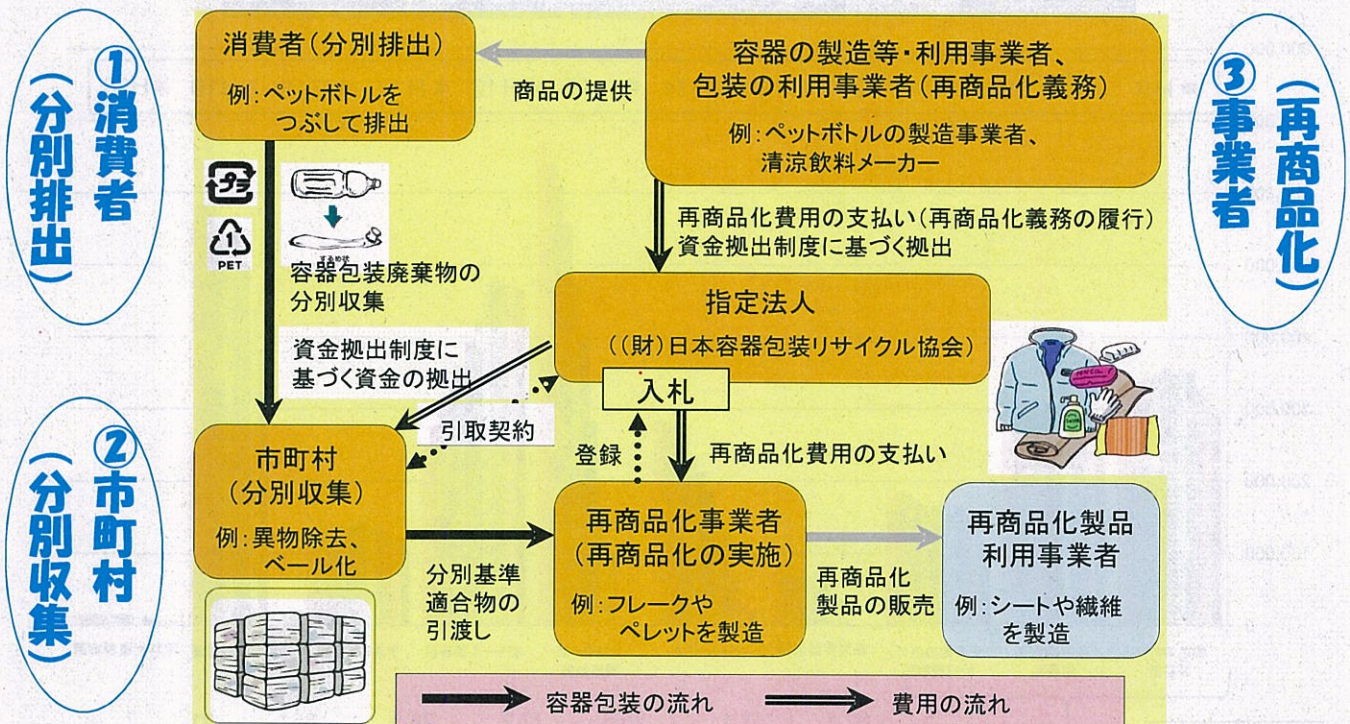


重量比（平成20年度）



1

容器包装リサイクル制度の概要



2